

平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月9日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 白鳥弘之
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 大

TEL 054-281-5238

平成25年5月27日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	7,278	△2.4	480	36.4	441	36.4	240	20.8
24年8月期第2四半期	7,457	4.6	352	△24.1	324	△24.5	199	△3.9

(注) 包括利益 25年8月期第2四半期 290百万円 (41.4%) 24年8月期第2四半期 205百万円 (△0.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第2四半期	20.24	—
24年8月期第2四半期	16.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第2四半期	17,129	6,051	35.3
24年8月期	17,472	5,849	33.5

(参考) 自己資本 25年8月期第2四半期 6,051百万円 24年8月期 5,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年8月期	—	5.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	1.4	900	26.5	800	18.7	430	△24.4	36.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期2Q	12,189,720 株	24年8月期	12,189,720 株
② 期末自己株式数	25年8月期2Q	311,739 株	24年8月期	269,739 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期2Q	11,902,875 株	24年8月期2Q	11,919,998 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年9月1日～平成25年2月28日)におけるわが国経済は、震災復興需要を背景に回復の動きが緩やかに続いているほか、昨年12月に発足した新政権による経済財政運営への期待感から円安傾向、株価上昇など一部に明るい兆しも見え始めております。一方、欧州債務問題や中国をはじめとする新興国の経済成長の減速などもあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する健康食品市場は、高齢者人口の増加と、消費者の健康維持・増進、アンチエイジングに対する意識の高さから、今後とも潜在需要は引き続き順調に推移するものと思われまます。しかしながら相次ぐ異業種大手企業の参入や、国内経済の長期低迷による消費マインドの低下などにより、生き残りをかけた企業間の競争は一層激しさを増し、厳しい環境となっております。

このような状況の下、当社グループはOEM部門において、来期以降を見据えた新規取引先の積極的開拓と並行して、営業力の強化・育成に注力したほか、直販部門においては他企業と連携した販売に取り組むなど、販路の拡大、事業の成長に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結売上高は、OEM部門が堅調に推移したものの直販部門の苦戦により7,278百万円(前年同期比2.4%減)となりました。損益面については、効率的な広告宣伝活動により広告宣伝費が大幅に圧縮されたことや、減価償却費・のれん償却額の減少などにより、営業利益480百万円(前年同期比36.4%増)、経常利益441百万円(前年同期比36.4%増)となり、四半期純利益は240百万円(前年同期比20.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

主力事業である当部門は、既存取引先からの受注が堅調に推移し、売上高は前年同期比4.1%増となりました。好調商材は引き続き、マーケット動向と一致した関節、アイケア、美容、伝統素材となっております。加えて、リコピン商品もダイエット分野での需要の高まりを受けて伸長いたしました。同部門では営業担当の人材育成も継続して行っており、中堅層に著しい成長が見られました。一方生産面においては、新たな受注獲得に向けゼリー充填機(液体粘体自動充填機)の導入準備を進めたほか、既存生産ラインの機械を拡充し、生産能力のアップ及び生産効率の向上に努めました。

・海外部門

為替相場の円安傾向により市場の雰囲気は改善に向かっているものの、高額な関税や放射能汚染による検査強化は続いており、また米国商品との競合など厳しい環境となっております。

そのような中、当部門は、シンガポールにおけるAFC代理店の伸長などにより売上高は前年同期比17.0%増となりました。引き続き、コラーゲンドリンクを主に、プラセンタ、美白商材など美容関連商品が好調に推移したほか、AFCブランドのルテイン、ブルーベリーも伸長いたしました。

・通信販売部門

昨年12月にリニューアルを行った「薬用シャンプー爽快柑」をメインに、TVショッピング・新聞広告を展開した結果、爽快柑シリーズ全体の売上は好調に推移いたしました。また、イベントにも積極的に出店し、ブランドの知名度向上と商品訴求に積極的に取り組みましたが、購入単価の低下などにより、売上を伸ばすまでには至りませんでした。

・卸販売部門

インターネットやTVショッピングなどの通販業向けの「ダイエットサプリ」、「爽快柑シャンプー」が伸長したほか、他社とのコラボレーション企画による販売が順調に進捗したものの、主要販売先である小売店向けの売上が苦戦し、当部門全体では減収となりました。

・店舗販売部門

百貨店店舗を販売拠点とする当部門は、物流拠点の集約や、店舗オペレーションの見直しなどコスト削減に努めたほか、風評被害による影響が大きい自然食品を中心とした不採算商品の整理を行い収益性の改善に注力いたしました。しかしながら、前述の商品改廃、また消費マインドの低迷が影響し、売上は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高6,534百万円(前年同期比1.7%減)(セグメント間内部売上高含む)、営業利益660百万円(前年同期比20.7%増)(配賦不能営業費用控除前)となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効能効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。また、一般用医薬品事業についても、新製品の投入、積極的な営業活動、及び販売促進活動などを行いました。

しかしながら、両事業とも同業他社との競争激化に加え、薬価改定による販売価格の低下の影響により、医薬品事業の売上高は744百万円（前年同期比7.9%減）となりました。一方損益面については、経費の節減効果により、営業利益44百万円（前年同期比58.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ264百万円減少し、8,060百万円となりました。この減少要因は主として、仕掛品が91百万円増加した反面、受取手形及び売掛金が297百万円、原材料及び貯蔵品が81百万円減少したことによるものであります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ78百万円減少し、9,069百万円となりました。この減少要因は主として、投資その他の資産のその他が62百万円増加した反面、減価償却などにより有形固定資産が115百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ687百万円減少し、6,377百万円となりました。この減少要因は主として、未払法人税等が151百万円増加した反面、短期借入金が585百万円、支払手形及び買掛金が196百万円、流動負債のその他が54百万円減少したことによるものであります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ141百万円増加し、4,701百万円となりました。この増加要因は主として、固定負債のその他が54百万円、社債が50百万円減少した反面、長期借入金が239百万円増加したことによるものであります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ201百万円増加し、6,051百万円となりました。この増加要因は主として、四半期純利益の計上により利益剰余金が181百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末（3,765百万円）から微増の、3,765百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は767百万円（前年同期523百万円の収入）となりました。

これは主として、仕入債務の減少額196百万円等により資金が減少した反面、税金等調整前四半期純利益432百万円、売上債権の減少額295百万円、減価償却費284百万円等により資金が増加したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は281百万円（前年同期280百万円の支出）となりました。

これは主として、有形及び無形固定資産の取得による支出236百万円等により資金が減少したものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は486百万円（前年同期238百万円の支出）となりました。

これは主として、長期借入れによる収入632百万円により資金が増加した反面、長期借入金の返済による支出965百万円、配当金の支払額60百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月12日発表の平成25年8月期業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,054,042	4,102,392
受取手形及び売掛金	2,038,597	1,740,988
商品及び製品	910,225	900,344
仕掛品	523,523	615,495
原材料及び貯蔵品	631,038	549,142
その他	220,547	203,464
貸倒引当金	△53,459	△51,685
流動資産合計	8,324,515	8,060,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,444,718	3,332,743
土地	3,784,329	3,787,700
その他(純額)	1,128,162	1,121,219
有形固定資産合計	8,357,210	8,241,663
無形固定資産		
のれん	26,255	7,652
その他	65,677	58,617
無形固定資産合計	91,932	66,270
投資その他の資産		
その他	706,736	769,073
貸倒引当金	△7,521	△7,528
投資その他の資産合計	699,215	761,544
固定資産合計	9,148,358	9,069,478
資産合計	17,472,874	17,129,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,601,859	1,405,089
短期借入金	4,381,446	3,795,695
未払法人税等	65,291	216,485
賞与引当金	95,000	95,000
ポイント引当金	53,000	52,000
その他	867,566	812,734
流動負債合計	7,064,163	6,377,004
固定負債		
社債	550,000	500,000
長期借入金	2,667,283	2,906,360
役員退職慰労引当金	343,810	341,642
退職給付引当金	163,727	173,209

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負ののれん	5,069	4,787
その他	829,610	775,439
固定負債合計	4,559,501	4,701,440
負債合計	11,623,665	11,078,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,482,684	1,482,684
利益剰余金	3,219,468	3,400,754
自己株式	△198,961	△228,223
株主資本合計	5,908,690	6,060,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,481	△9,537
その他の包括利益累計額合計	△59,481	△9,537
純資産合計	5,849,209	6,051,176
負債純資産合計	17,472,874	17,129,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
売上高	7,457,247	7,278,575
売上原価	5,036,015	4,963,068
売上総利益	2,421,231	2,315,506
販売費及び一般管理費	2,068,758	1,834,909
営業利益	352,473	480,597
営業外収益		
受取利息	215	231
受取配当金	1,793	5,571
負ののれん償却額	15,817	281
助成金収入	10,434	11,831
貸倒引当金戻入額	6,413	—
その他	12,419	15,022
営業外収益合計	47,094	32,938
営業外費用		
支払利息	72,251	65,152
その他	3,247	6,461
営業外費用合計	75,498	71,614
経常利益	324,069	441,921
特別利益		
有価証券償還益	1,730	—
特別利益合計	1,730	—
特別損失		
固定資産除却損	3,071	3,598
減損損失	—	5,861
特別損失合計	3,071	9,459
税金等調整前四半期純利益	322,728	432,461
法人税、住民税及び事業税	123,257	205,241
法人税等調整額	30	△13,665
法人税等合計	123,287	191,576
少数株主損益調整前四半期純利益	199,440	240,885
四半期純利益	199,440	240,885

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	199,440	240,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,297	49,943
その他の包括利益合計	6,297	49,943
四半期包括利益	205,738	290,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,738	290,829
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	322,728	432,461
減価償却費	326,505	284,708
のれん償却額	26,122	18,321
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,100	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,098	△2,167
受取利息及び受取配当金	△2,009	△5,802
支払利息	72,251	65,152
有価証券償還損益(△は益)	△1,730	—
固定資産除却損	3,071	3,598
減損損失	—	5,861
売上債権の増減額(△は増加)	242,600	295,799
たな卸資産の増減額(△は増加)	△244,267	△194
仕入債務の増減額(△は減少)	△76,859	△196,769
未払消費税等の増減額(△は減少)	51,425	△9,061
その他	29,757	△37,415
小計	778,794	854,491
利息及び配当金の受取額	1,982	5,785
利息の支払額	△40,346	△64,832
法人税等の支払額	△213,765	△27,558
その他	△3,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	523,665	767,886
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	57,440	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△304,674	△236,049
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	316
投資有価証券の取得による支出	△35	△37
投資有価証券の売却による収入	—	197
貸付金の回収による収入	1,405	149
その他	△34,486	△45,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280,349	△281,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	64,800	△12,998
長期借入れによる収入	—	632,000
長期借入金の返済による支出	△134,780	△965,676
自己株式の取得による支出	△30	△29,603
配当金の支払額	△118,275	△60,042
その他	△50,000	△50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238,286	△486,320
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,029	350
現金及び現金同等物の期首残高	3,372,563	3,765,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,377,592	3,765,392

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,648,942	808,304	7,457,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,648,942	808,304	7,457,247
セグメント利益	547,563	27,799	575,362

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	575,362
全社費用(注)	△222,889
四半期連結損益計算書の営業利益	352,473

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,534,462	744,113	7,278,575
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,534,462	744,113	7,278,575
セグメント利益	660,801	44,094	704,895

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	704,895
全社費用(注)	△224,298
四半期連結損益計算書の営業利益	480,597

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。